

# 毛筆書写技能検定

毛

# 1級

試験問題

# A

日程

〔試験時間〕

# 150分

〔注意事項〕

1. 受験する級の問題冊子であるか確認してください。
2. 試験監督の指示があるまで問題冊子を開けないでください。
3. 問題内容に関する質問は一切受けつけません。
4. 携帯電話等の電子機器は必ず電源を切り、絶対に使用しないでください。
5. 不正行為をした場合は、答案は無効となります。
6. 受験票と受験に必要な用具以外はすべてしまってください。
7. 墨の色や濃さを確認するために自分の半紙を1枚出しておいても構いません。
8. 答案は各問題につき1枚のみ提出してください。
9. 問題冊子は持ち帰らずに答案とともにすべて提出してください。

〔用具について〕

- ・罫線付きの下敷きを使用しても構いませんが、自作の下敷きは使用できません。
- ・洗濯して落ちる墨や、筆ペンは使用できません。
- ・理論問題の解答時に使用する筆記具は自由となっています。※鉛筆・万年筆・ボールペン・サインペン・つけペンが使用できます。

## 【受験地番号・受験番号の記入】

受験地番号・受験番号は、実技解答用紙（半紙・画仙紙・第6問賞状用紙）・理論問題解答用紙に、**受験票に記載されている番号を正確に記入してください。**

## 【準登録（片方合格）の手続き】

準登録（片方合格）の方は、該当科目の解答用紙に受験地番号・受験番号のみを記入し、必ず白紙で提出してください。

### 【不許複製】

この試験問題の複製（コピー）を禁じます。また、この試験問題およびその内容を当協会の許可なく他に伝える行為や、漏えい（インターネット上に掲載することを含みます）することを固く禁じます。



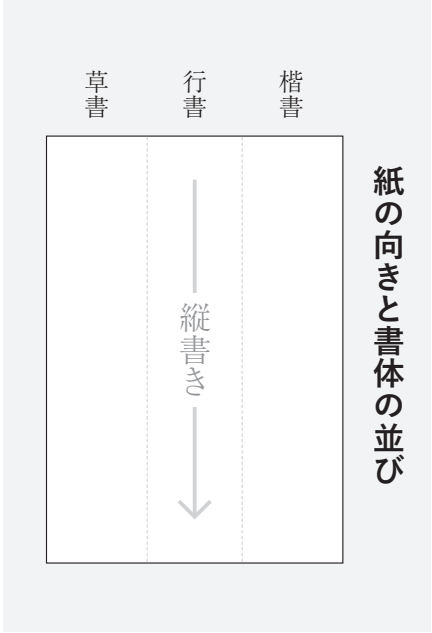
受験票の受験地番号・受験番号を記入

実技答案（半紙・画仙紙）は、**左下**に受験地番号・受験番号を記入してください。

実技問題

**第1問** つぎの漢字五字を、別紙（半紙一枚）に縦書きで楷書・行書・草書の三体で三行に書きなさい。

長江萬里清



## 第2問

つぎのわく内の文を、別紙（半紙）を縦長にして書きなさい（漢字は行書で書くこと。仮名は連綿で書いてもよい。漢字・仮名は課題のとおりを書くこと）。

龍は天に昇り 雲を呼び雨を降らせる不思議な力を持っていると信じられ 農作物にとって水や雨の神様と言われる

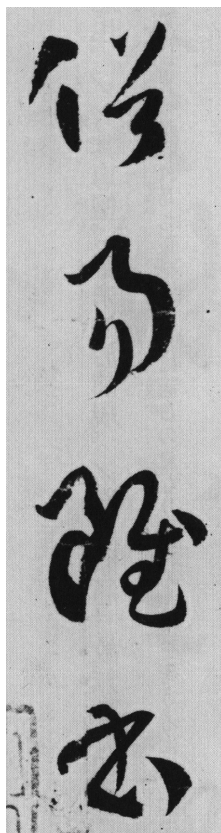
紙の向きと使い方

縦書き

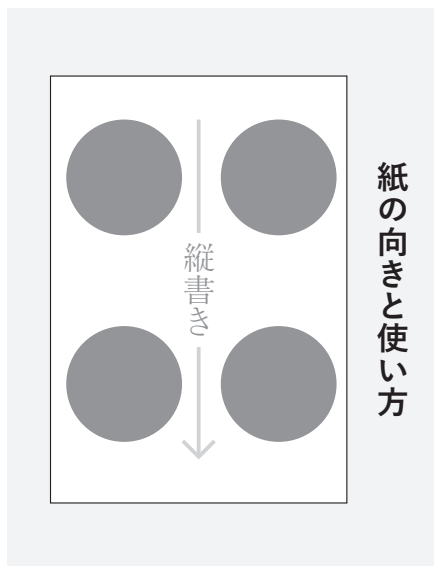


### 第3問

つぎの文字は書譜の一部分です。これを別紙（半紙）を縦長にして臨書しなさい。

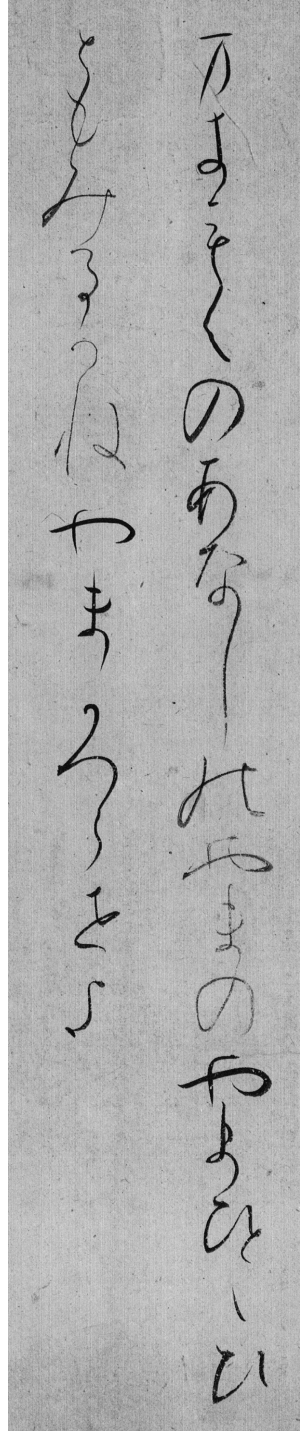


（俗易雖書）



#### 第4問

つぎの和歌は高野切第一種の一部分です。これを別紙（半紙）を縦長にして、二つに折り、右半分に二行に臨書しなさい（写し書きをしないこと）。



まぎもくのあなしのやまのやまびと、ひとみみるがねやまかづらせよ

#### 紙の向きと使い方

縦長にした半紙を縦に二つに折り、右半分に臨書してください。



# 第5問

つぎの★印の……で囲んだわく内のa・b・c・dのうち、いずれか一つを選んで、縦書きで別紙（紙の大きさは図版を参照）に自分の得意とする形（書体・書きぶり・布置など）で書きなさい（作品には落款を「松風書」として入れ、押印の位置は赤の油性または顔料系のマーカーで□の形を書いて示すこと。c、dの場合は「松風かく」でもよい）。

a

春江潮水連海平  
海上明月共潮生

aの読み  
春江の潮水海に連なりて平らかなり  
海上の明月潮と共に生ず

b

桃花含雨開

bの読み  
桃花雨を含みて開く

c

散りにけりあはれうらみの誰なれば  
花のあととふ春の山風

（新古今和歌集）

d

私は不思議でたまらない  
黒い雲からふる雨が  
銀にひかっていることが

（金子みすゞ）

a・bの漢字は書写体にかえてもよい。  
cは、漢字を仮名に、仮名を漢字にして書いてもよく、また、適当に変体仮名をまぜて書いてもよい。和歌は現代表記によるものである。  
dの漢字・仮名は、課題のとおりを書くこと。

### 紙のサイズと使い方

半切の  
二分の一

↓縦書き↓

半切

a～dまで半切または半切の二分の一のサイズで縦書きで書いてください。

### 紙の向き

a・b・c	縦のみ
d	縦横自由

## 第6問

つぎの賞状文を、別紙（第6問賞状用紙・横長にして）に体裁よく書きなさい（漢字は楷書で書くこと。印の大きさと位置を赤の油性または顔料系のマーカーで示しなさい）。鉛筆で下書きをしてはいけない。定規やものさしで書いた線は消して出すこと。

賞状	
特選	吉谷 久江
あなたは校内書き初め展において頭書の成績を収めたのでこれを賞します	
平成三十年一月二十八日	
中央高等学校校長 戸田 忠□	

